

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課(☎65-6504)までお知らせください。

7月16日(金)

国の登録有形文化財に登録へ

鳥羽上町の旧北村医院(李軒邸)の主屋を含む10件が、国の登録有形文化財に登録されることになりました。江戸後期から昭和まで使われた住宅兼診療施設で、江戸時代に主屋が建てられてから大正後期までに増改築がされていて、地域医療施設の変遷をたどれることが評価されました。

今後について所有者は、「住民の憩いの場や学びの場として活用してもらいたい」と話しています。



7月17日(土)

着物でお得に街歩き

えきまちテラス長浜で「きものD E 長浜オープニングセレモニー」が行われました。「きものD E 長浜」は、長浜きもの大遊園会が、きもの散策イベントへと形を変えて開催されたものです。この日は、和装姿の関係者およそ20人が参加し、イベントの開幕を祝いました。今年は、浴衣姿での参加も可能となり、より気軽にまちなか散策を楽しみながら、観光施設等でお得な優待を受けられるようになりました。



7月18日(日)

子どもたちが歌って踊る合同発表会

長浜文化芸術会館で、子どもたちの合唱、劇、ダンスの合同発表会「長浜キッズアートフェスティバル2021」が開催されました。

地元で活躍する「輝りキッズ」、「えんげ☆KiDS」、「木之本ミュージカルクラス」、「HAPPY DANCE」の4団体がパフォーマンスを披露。出演者の1人は「緊張したけど、楽しく歌えてよかった」と満足気に振り返りました。



7月18日(日)

マスクメロンを親子で収穫

小谷城スマートIC栽培実験農場で「親子メロン収穫体験」が開かれ、市内外からおおよそ45組の親子が参加しました。

これは農場を管理する地元農業者がヤンマーミュージアムとの連携により「体験型農業」を実施し、その収益性を検証する目的で企画されたものです。

参加者らはメロンの特徴や栽培方法を学んだあと、ビニールハウスに入りメロンを収穫。糖度測定や箱詰めなども体験でき、学び多い一日となりました。



長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「# みんなのちょびっく」で紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

7月24日(土)

地域の良さを発見するプロジェクトが始動

曳山博物館で、地元の高校生を対象とした「高校生Challenge & Creationプロジェクト」が開催されました。

このプロジェクトは、若者が地域との関係性をつくることで、若者のふるさと回帰を目的に開催されたものです。キックオフミーティングが行われた後、「もし自分が長浜市長なら、どんな未来を作るか」をテーマにワークショップが行われ、よりよい街づくりを行うための意見交換が行われました。



7月27日(火)

親子で調理する楽しさを味わいました

長浜南部学校給食センターで、親子料理教室が開催されました。これは、親子で食に関する体験活動をしてもらおうと、長浜南部学校給食センターと長浜北部学校給食センターが数日にわたって開催したものです。

参加者の中には「料理は久しぶり」と意気込む子や、「将来は料理人になりたい」という子も。調理手順を親子で確認し合いながら、大豆ミートソース作りを楽しみました。



8月8日(日)

熱のこもった演技が披露されました

虎姫文化ホールで、「中高生えんげきCAMP！2021」の成果発表公演が行われました。中高生をはじめ、若い人に演劇の楽しさを体験してもらおうと開かれたワークショップで、地域の中高生あわせて7人が参加しました。

公演された「ふたりのロッセ」は、離れて育った双子の姉妹が、両親を仲直りさせるため、秘密の計画を立てるストーリー。出演した中高生らは役になりきり、熱演を披露しました。



8月11日(水)

歌舞伎を通して深める学び

創立150周年を迎える長浜小学校で、数々の記念事業が行われることになり、その準備が進められています。

メイン事業の子ども歌舞伎「ながしょう座」では、役者や大道具、裏方など様々な役割で6年生児童全員が運営に携わります。この日は、広報係を担う児童たちが、虎姫高校新聞部の生徒から取材方法のレクチャーを受けた後、役者を務める児童に取材し、役者の魅力などについて質問を投げかけました。

